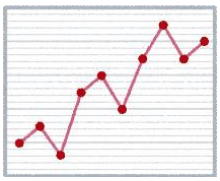
R7 楡木小学校　学校通信
No. 7
なりたい自分になる！
In 楡木サラダボウル
令和７年５月１６日
文責　余宮

運動会モード突入中。途端にあつい！心も熱いが、気温も暑い。熱中症予防に気を付けて頑張っています

素直さ



４年生の教室をのぞいてみると、算数の授業中のようです。折れ線グラフの学習かな。指示された温度をプロットし、折れ線グラフを作成中です。けんたさん（仮名）も上手にプロットし、折れ線グラフが完成しているように見えるのですが、なんだかうかない様子。どうしたのかな？

「12 時の時に 22 度で 2 度上がっているんだけど、14 時は 25 度で 3 度も上がっている」

だから 12 時から 14 時にかけて、気温が急上昇するというグラフが表している事実はわかるんだけど、なんだかしっくりこない。

「12 時が真ん中だから一番気温が上がると思っていたんだけど…」

なるほど、時刻だけを見ると 12 時が真ん中。だから 12 時の気温が一番高いはず。でも結果は 14 時。小さな違和感がくすぶります。すると、さえさん（仮名）が声をかけてきます。

「だって、昼休みの後が一番暑いじゃん」

あ～、確かに昼休みが終わるときが一番暑い。とすると、時刻の真ん中と気温の上がり方にはずれがあるのね。なるほど、14 時を過ぎたころから、だんだん気温も下がってくるところも、同じように（2 時間）ずれている。けんたさんの表情がぱっと明るくなりました。

一見、折れ線グラフの学習とは関係なさそうにみえますが、実はこのような文脈（コンテクスト）こそが、学習の本質です。今まで関係のなかったこと・モノに、自らつながりを創り、新たな視点から世界を見つめなおす。その視点からこと・モノを改めてながめてみると、見えなかったものがくっきりと姿を現す。このような、わたしの世界が劇的に変わる経験が、学びの正体だと思います。けんたさんのように、自身の生活体験や違和感に引き付け、意味を編み直し、折れ線グラフが表した変化はわたしの生きる過程にあること・モノとかかわりをもつ確かな実感を得ることで、折れ線グラフは「わたしの折れ線グラフ」となる。

そんな知識は駆動します。そして、今後いろんな場面で現れる折れ線グラフが意味するものを批判的に読み取ろうとする学ぶ態度の育ちにつながるのだろうと、私は思うのです。

多分、素直さとは、自分の中に生まれた違和感に対して無頓着ではいられない無邪気な心もちだと思います。だからこそ、一人ひとりに宿る素直さは、十人十色の個性的で豊かないろどりがある。

その意味では、素直さは人としてのよさそのものであり、探究人（たんきゅうびと）（R6 学校通信 No32 参照）が身につけるべきお作法の大切な要素だと思います。そんな素直さをもつけんたさんだからこそ、さえさんの言葉に、素直に表情を明るくすることができたんでしょうね。

けんたさん、さえさんも所属している４年生の学年目標は「すなおな心をもち　ねばり強く取り組んで　レベルアップ」です。素直さ全開で取り組む 4 年生の飽くなき探究心を、心から応援したいと思っています。